

令和5年度第1回代表幹事会議事録

【日 時】 令和5年(2023年)7月30日(日) 14:00 ~ 17:00

【場 所】 ルノアール新宿3丁目ピックスビル店 5号室

【出席者】 役員：三澤幹事長兼副会長、小松副会長、衣袋副会長、百瀬副会長

代表幹事：森本総会指導委員長、戸田広報委員長、脇川財政委員長、濱田 HP 管理委員長、
横川渉外副委員長、松澤事務局長、佐藤事務局次長、小岩井第56回実行委員長、小林監事

【欠席者】 久保田会長、山岸副会長、太田副会長、仁科渉外委員長、松沢代表幹事、清水会計委員長、
二木6年委員会委員長

計 13 名参加

1. 開会あいさつ：三澤幹事長

- ・ 7月23日に、元東京同窓会長の濱氏が急逝した。心よりご冥福をお祈りします。
東京同窓会からは、弔電・生花・お香典を手配し、同窓生15名程が葬儀に参列したことを報告する。

2. 議題

(1) 総会・懇親会に伴う課題の整理

① 小岩井実行委員長より以下の報告があった。

- ・ 3年振りの開催だったが、会場に200名を超える参加者があり、実行委員一同安心した。
- ・ 8月7日(月)に高46回への引継会を予定しており、9月頃に予定されている合同幹事会にて詳細な報告をする予定
- ・ 収支：会費収入・寄付等で総額約251万円、支出はアルカディアへの支払・保護シール代・私書箱・来賓への土産物・学生服レンタル・交通費ほかで約220万円、収支は+30万円程となる見込み

② 森本総会指導委員長より資料に基づいて説明あり、その後、審議に移る

③ 決定・確認事項

- ・ 今後、出欠ハガキは止めて行く方向で検討を進める。次年度については、ハガキには自分で切手を貼ってもらう方法を取る。ハガキを止めるまでの過渡期の対策は別途考える。
(ハガキ 2,500人分印刷、ハガキでの返信 241通)
- ・ 今回、100周年寄付を募金箱で受け付けたが、その募金箱をそのままにして受付が会場に入ってしまったので、事務局次長が代わりに見張り役をすることとなり会場に入れなかった。次回は、受付の開始・終了時間と役割分担を明確にする。
- ・ 積極的な勧誘はしなかったが、やはり出席者を集めたいという場面があった際、確定した出席者の情報がなかったので、その情報は出して欲しい(要望)。
- ・ 来賓の出欠確認で代理参加者への案内状は、来年は改めては発送しない。出欠確認に当たっては渉外委員にも願います。
- ・ 総会・懇親会は、来年から一体運用とする。案内には、総会の開始時間しか入れないこととする。来賓も総会から指定の席で参加する(東京同窓連・中信同窓連・僚友校・縣陵本部同窓会も同じ)来賓のお茶出しは会場に頼むのは止めて、ペットボトルのお茶を配ることとする。

- ・ 当日の参加者からの急な企画の持ち込みは断る。事前に実行委員に相談があったものは都度判断する。
- ・ 会費未納者への扱い：該当者が3名いたうち、2名には納付を頂いており、7月30日時点で未納は松本在住の1名であり、引き続き納付を促したい。
- ・ 同窓会の収支は財政委員会が主管し、残った資金を一般会計に移している。
- ・ 総会懇親会の参加費、当日の現金収入は実行委員会の通帳に入る。実行委員会としては参加費の入金状況を財政委員長に頻繁に問い合わせをしなければならず、お互いに苦勞である。入金状況を確認しやすくできないか。任意団体なので、オンラインでは確認できないのでは、という指摘もあったが、総会懇親会の参加費支払状況が確認できる方法がないか検討する。
- ・ 領収証等に押印する印鑑の管理は事務局で行う。

(2) 100周年記念祝賀会の準備状況について

① 太田委員長の資料を百瀬総務委員長が説明後に審議

② 決定確認事項

- ・ 記念品のボールペンは原案どおりで承認した。
- ・ 当日の進行計画と役割分担・実行体制について承認した。
- ・ 東京会場への出席者の確認を手分けして行う。

HPでの案内と申込み窓口の作成、回期幹事への参加確認の依頼
記念の一句についても、更なる応募の要請を行う。

(3) 縣陵レディースの今年度の行事について

① 衣袋委員長より概要説明

11月11日(土) 10:30 J R駒込駅集合、定員40名

雅な大名庭園”六義園”&貸切ランチパーティー in オリエントカフェ

② 8月19日に下見予定、9月9日に女性会員に案内発送予定

男性会員はHPから申込み

(4) 会則・運用細則検討の件

① 百瀬総務委員長が資料に基づき説明後に審議に入る

② 審議内容

- ・ 若手開拓に向けた2つの方向性には賛同する
- ・ 勝手連的な集まりの企画については、スピード感を持って進めたい。
- ・ 多様性・ダイバーシティを大事にしたい。
- ・ 今回の東京同窓会の参加者約200名中、50回生以降の世代は17名が参加した。これら若い人に任せられるようにしていきたい。
- ・ 例えば、卒業後30年経ったら、同期会費2万円を支援するというのはいかがでしょうか。
- ・ 生徒(現役)の内からから刷り込んでいく必要がある。
- ・ 若手が集まる仕組み作りが必要。
- ・ 世代によって、PINポイントで求めるものがある。
- ・ 東京同窓会の後で行う二次会を、会費の支援をするからやってくれというのはいかがでしょうか。
- ・ 学生の参加者は、就職活動の目線で考えている。
- ・ 今回、美ヶ原登山を行ったが、学校との協力も必要。徳永校長は、動きが早い。

(美ヶ原登山：45人中17人が現役の生徒)

- ・ 会報を送るなど、東京同窓会をアピールする必要がある。
- ・ 実行委員の住所登録もスタートの一つ。
- ・ 東京同窓会のLINEグループ(LINE worksもある)を作ったらどうか、など
- ・ 嶋田委員のように勝手連的な活動に積極的な委員もいるので、彼に任せる方法も取り入れると良い。
- ・ これらの活動の窓口は「6年委員会」が良いのではないか。
- ・ 今回は、時間切れで十分な議論が出来ずに終わったが、今回は、これらの問題を解決していくための組織について考える。各委員会は、それぞれの活動(総会指導委員会、渉外委員会、縣陵レディース、6年委員会)を整理し、各委員会で、現行の会則・運営細則を確認して、今まで議論してきた活動をしていくために必要な具体的変更点があるか確認する。変更点について、次の代表幹事会で議論する。

(5) 会計委員長の交代について

- ① 清水会計委員長が職場の関係で平日に私的なことを会社で出来ず土日に限られている状況にあること、また、各委員会の経費支払いについても土日に限定され、振込手続き等の時間も取り難い状況にある。幹事会等の参加費の入金確認・集計も出来ない状況にあり、小林前会計委員長に未だにご負担をお掛けしている状況にあることを百瀬総務委員長から説明。
- ② 審議後、清水さんには今の仕事が一段落してから改めてご協力をお願いすることとし、小林監事に再度、会計委員長をお願いし、監事は新津監事一人をお願いすることを、前回一致で承認した。

(6) その他

- ・ 次の合同幹事会は9-10月で開催することとし、日程調整を進めることとした。
17時に前審議を終了した。

以 上